

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年7月13日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自平成24年3月1日至平成24年5月31日）
【会社名】	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
【英訳名】	ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 修逸
【本店の所在の場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 中山 浩之
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 中山 浩之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期連結 累計期間	第28期 第3四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自平成22年9月1日 至平成23年5月31日	自平成23年9月1日 至平成24年5月31日	自平成22年9月1日 至平成23年8月31日
売上高(千円)	3,726,838	3,409,480	5,283,521
経常利益(千円)	375,761	143,133	468,445
四半期(当期)純利益(千円)	268,131	55,694	364,456
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	242,748	109,691	323,521
純資産額(千円)	2,149,412	2,310,858	2,218,314
総資産額(千円)	5,261,177	4,723,177	5,297,406
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	31,236.24	6,488.15	42,457.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.8	47.0	40.9

回次	第27期 第3四半期連結 会計期間	第28期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年3月1日 至平成23年5月31日	自平成24年3月1日 至平成24年5月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	14,263.41	1,861.79

注1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
4. 第27期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興に伴い経済活動は緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら一方で、欧州の債務危機を背景とした海外経済の下振れ懸念、為替や株価の変動、タイの洪水による企業活動への影響等、先行きに対する不透明感が強まる状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンなどのモバイル端末用の半導体需要は好調に推移しているものの、液晶テレビやパソコンの需要低迷等により、各関連メーカーでは設備投資の抑制及び延期の動きが見受けられました。

このような事業環境の中、当社等は、当社の主要製品である高周波電源の市場シェア拡大に重点を置き、既存顧客に対するフォローのみならず、新規顧客開拓のための製品PRを積極的に実施したものの、売上高は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷、また海外向けの製品出荷の増加等があったことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,409,480千円（前年同期比8.5%減少）、営業利益は169,072千円（前年同期比58.6%減少）、経常利益は143,133千円（前年同期比61.9%減少）、四半期純利益は55,694千円（前年同期比79.2%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年9月1日 至平成23年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成23年9月1日 至平成24年5月31日）
	金額（千円）	金額（千円）
売上高	3,726,838	3,409,480
売上総利益	1,304,254	1,073,702
営業利益	408,410	169,072
経常利益	375,761	143,133
四半期純利益	268,131	55,694

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンやタブレットPCの需要は増加したものの、液晶テレビなどの需要低迷に伴い、各関連メーカーで設備投資抑制等の動きがあったことから、売上高は2,258,500千円（前年同期比24.7%減少）、営業利益は23,555千円（前年同期比94.4%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷等があり、また当該大型案件のコスト改善の実現により、売上高は1,150,979千円（前年同期比58.5%増加）、営業利益は144,438千円（前年同期は営業損失14,030千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年9月1日 至平成23年5月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自平成23年9月1日 至平成24年5月31日）	
	売上高	営業利益又は 営業損失（ ）	売上高	営業利益
	金額 （千円）	金額 （千円）	金額 （千円）	金額 （千円）
半導体・液晶関連事業（当社等）	3,000,881	423,240	2,258,500	23,555
研究機関・大学関連事業（IDX）	725,956	14,030	1,150,979	144,438
合計	3,726,838	409,209	3,409,480	167,994

注1．売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2．営業利益又は営業損失（ ）は、各セグメントの営業利益又は営業損失（ ）を表しております。

（注）文中表記について

（当社等）

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd. 及び Hana Technology Co., Ltd. を表しております。

（IDX）

株式会社IDXを表しております。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は4,723,177千円であり、前連結会計年度末と比較して574,229千円減少しております。

これは、受取手形及び売掛金の減少（719,143千円）、仕掛品の減少（156,937千円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,412,319千円であり、前連結会計年度末と比較して666,773千円減少しております。

これは、短期借入金の減少（680,000千円）及び買掛金の減少（57,482千円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は2,310,858千円であり、前連結会計年度末と比較して92,543千円増加しております。

これは、少数株主持分の増加（40,193千円）及び利益剰余金の増加（38,526千円）等によるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、282,679千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000
計	28,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,586	8,586	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度を採用して おりません。
計	8,586	8,586		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日		8,586		835,598		908,160

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,584	8,584	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	8,586	-	-
総株主の議決権	-	8,584	-

## 【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アドテックプラズマテクノロジー	広島県福山市引野町五丁目6番10号	2		2	0.02
計	-	2		2	0.02

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,077	1,168,063
受取手形及び売掛金	1,456,815	737,671
製品	339,656	434,848
仕掛品	951,029	794,092
原材料及び貯蔵品	681,904	747,902
繰延税金資産	33,279	15,486
その他	115,246	46,717
貸倒引当金	3,176	-
流動資産合計	4,435,831	3,944,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,045,280	1,058,985
減価償却累計額	579,622	606,875
建物及び構築物(純額)	465,658	452,110
車両運搬具	17,417	19,270
減価償却累計額	10,301	12,986
車両運搬具(純額)	7,116	6,283
工具、器具及び備品	674,366	627,188
減価償却累計額	472,138	485,865
工具、器具及び備品(純額)	202,228	141,322
土地	65,926	65,926
建設仮勘定	503	135
有形固定資産合計	741,432	665,778
無形固定資産	44,234	42,213
投資その他の資産		
投資有価証券	28,333	21,643
繰延税金資産	1,918	2,051
その他	65,566	66,617
貸倒引当金	19,909	19,909
投資その他の資産合計	75,908	70,402
固定資産合計	861,574	778,394
資産合計	5,297,406	4,723,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	219,955	162,472
短期借入金	1,160,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	550,546	538,444
未払法人税等	12,064	20,795
役員賞与引当金	6,500	-
その他	110,885	333,635
流動負債合計	2,059,951	1,535,347
固定負債		
長期借入金	934,364	783,794
資産除去債務	69,641	70,556
その他	15,135	22,620
固定負債合計	1,019,141	876,971
負債合計	3,079,092	2,412,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	601,721	640,247
自己株式	384	384
株主資本合計	2,345,095	2,383,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,903	6,460
為替換算調整勘定	168,361	156,981
その他の包括利益累計額合計	177,265	163,441
少数株主持分	50,483	90,677
純資産合計	2,218,314	2,310,858
負債純資産合計	5,297,406	4,723,177

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
売上高	3,726,838	3,409,480
売上原価	2,422,584	2,335,777
売上総利益	1,304,254	1,073,702
販売費及び一般管理費	895,843	904,629
営業利益	408,410	169,072
営業外収益		
受取利息	801	858
受取配当金	140	145
デリバティブ評価益	410	213
受取手数料	6,526	8,059
受取家賃	1,915	4,800
補助金収入	586	1,128
貸倒引当金戻入額	-	3,176
その他	1,539	3,916
営業外収益合計	11,920	22,297
営業外費用		
支払利息	26,739	23,075
たな卸資産廃棄損	12,334	2,939
為替差損	1,128	17,605
その他	4,367	4,616
営業外費用合計	44,569	48,236
経常利益	375,761	143,133
特別利益		
固定資産売却益	4,063	246
特別利益合計	4,063	246
特別損失		
固定資産除却損	928	1,443
投資有価証券評価損	973	8,218
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,309	-
投資有価証券売却損	-	630
特別損失合計	30,211	10,292
税金等調整前四半期純利益	349,613	133,087
法人税、住民税及び事業税	37,419	20,337
法人税等調整額	55,349	16,882
法人税等合計	92,768	37,219
少数株主損益調整前四半期純利益	256,845	95,868
少数株主利益又は少数株主損失( )	11,286	40,174
四半期純利益	268,131	55,694

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	256,845	95,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,055	2,443
為替換算調整勘定	13,041	11,380
その他の包括利益合計	14,096	13,823
四半期包括利益	242,748	109,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,035	69,517
少数株主に係る四半期包括利益	11,286	40,174

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年9月1日  
至平成24年5月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
減価償却費 59,148千円	減価償却費 64,081千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 取締役会	普通株式	8,584	1,000	平成23年2月28日	平成23年4月25日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月25日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金
平成24年4月13日 取締役会	普通株式	8,584	1,000	平成24年2月29日	平成24年4月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	3,000,881	725,956	3,726,838	-	3,726,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,236	6,254	39,490	39,490	-
計	3,034,117	732,210	3,766,328	39,490	3,726,838
セグメント利益又は損 失( )	423,240	14,030	409,209	798	408,410

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 798千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,258,500	1,150,979	3,409,480	-	3,409,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,508	7,785	74,294	74,294	-
計	2,325,009	1,158,765	3,483,774	74,294	3,409,480
セグメント利益	23,555	144,438	167,994	1,078	169,072

(注) 1. セグメント利益の調整額1,078千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31,236円24銭	6,488円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	268,131	55,694
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	268,131	55,694
普通株式の期中平均株式数(株)	8,584	8,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成24年4月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....8,584千円

(ロ) 1株当たりの金額.....1,000円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年4月23日

(注) 平成24年2月29日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月12日

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 敏博 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 家元 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテックプラズマテクノロジーの平成23年9月1日から平成24年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテックプラズマテクノロジー及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。